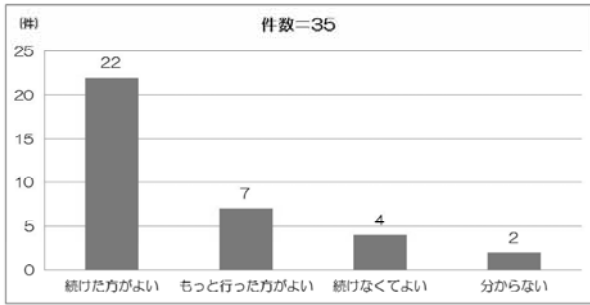


(5) 今後の事業の在り方

問5 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を、今後も続けた方がよいと思いますか。



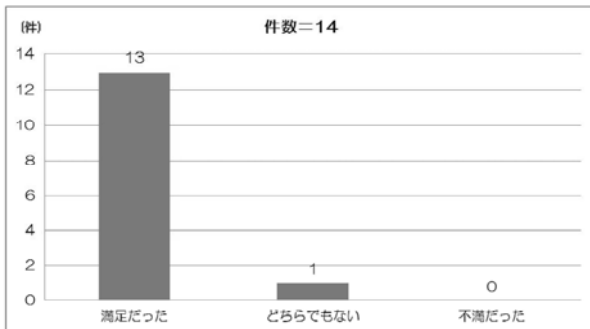
「続けた方がよい」、「もっと行った方がよい」の回答が大半を占める。「続けなくてよい」の理由として、「整備したために他人が山に入ってくる」との意見がある。

(6) その他、この事業に対する自由意見

「整備後の保安全管理についても一部助成（補助金）をしてほしい」などの意見がある。

(3) 事業実施の満足度

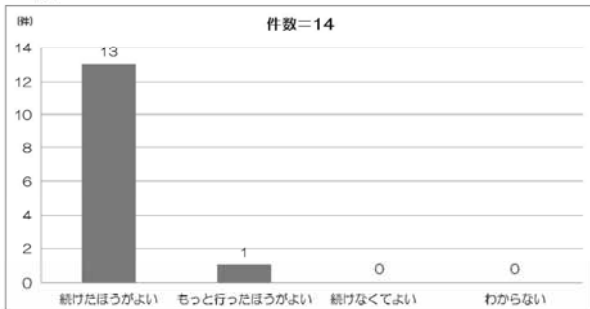
問3 この里山林の整備は、あなたがたにとって満足できるものでしたか。



「満足だった」の回答が大半を占め、「不満だった」の回答はない。

(4) 今後の事業の在り方

問4 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を、今後も続けた方がよいと思いますか。



「続けた方がよい」の回答が大半を占め、「続けなくてよい」の回答はない。

(5) その他、この事業に対する自由意見

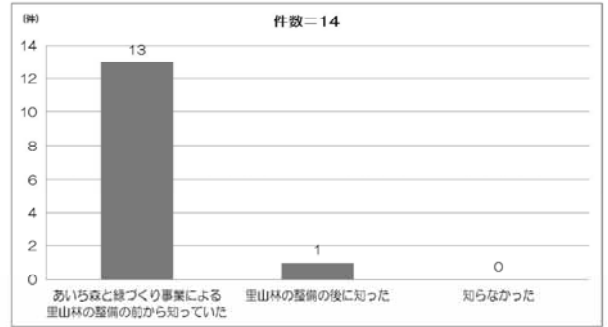
「保安林の整備も可能にしてほしい」、「整備後の保安全管理に助成があるとよい」などの意見がある。

9 里山林整備事業 地域活動団体アンケート

送付数 15 / 回答数 14 回答率 93.3%

(1) 里山林整備の必要性

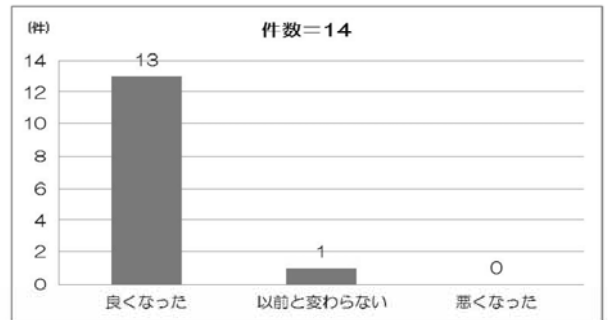
問1 生物多様性などの公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを知っていましたか。



「整備の前から知っていた」の回答が大半を占める。

(2) 事業実施による森林の変化

問2 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備で、あなたが関わっている森林が良くなったと思いますか。



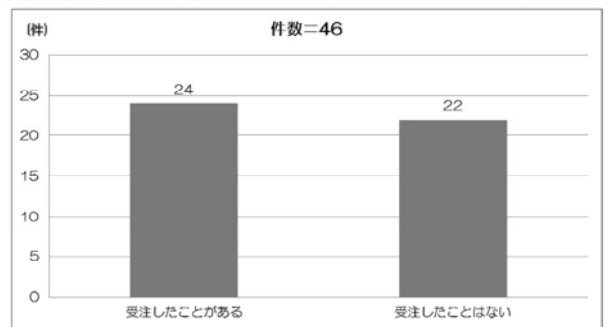
「良くなった」の回答が大半を占め、「悪くなった」の回答はない。

10 人工林整備事業 事業者アンケート

送付数 53 / 回答数 46 回答率 86.8%

(1) 事業受注の有無

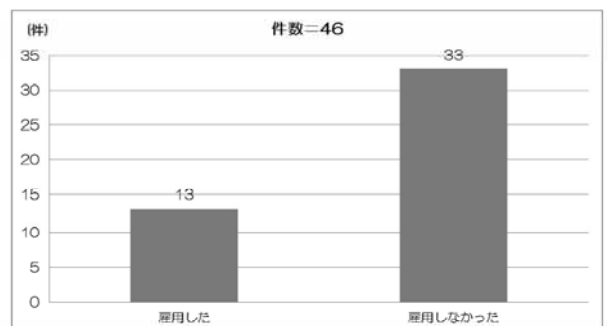
問1 あなたの会社は、あいち森と緑づくり人工林整備事業を受注したことがありますか。



約半数が「受注したことがある」と回答している。

(2) 事業開始による新規雇用の有無

問2 あなたの会社は、あいち森と緑づくり人工林整備事業が始まったことをきっかけに新規就労者を雇用しましたか。

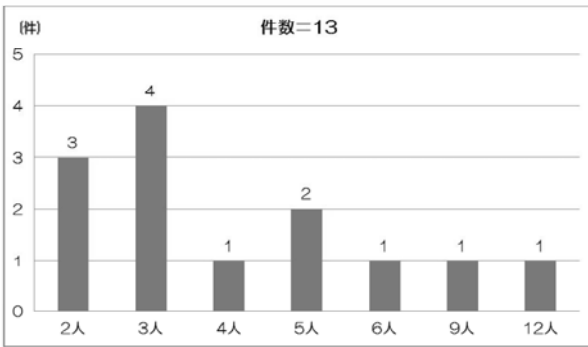


「雇用しなかった」の回答が「雇用した」の回答を大きく上回っている。

(3) 新規就労者の状況

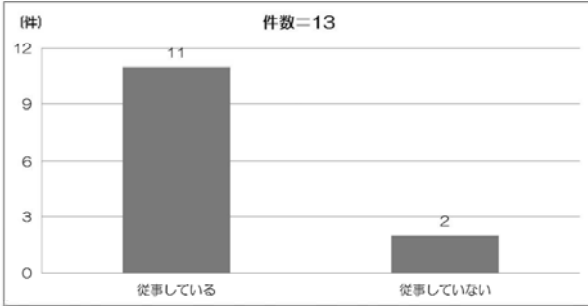
問2で「1雇用した」と答えた方にお聞きします。

問3-1 雇用した就労者は何人ですか。



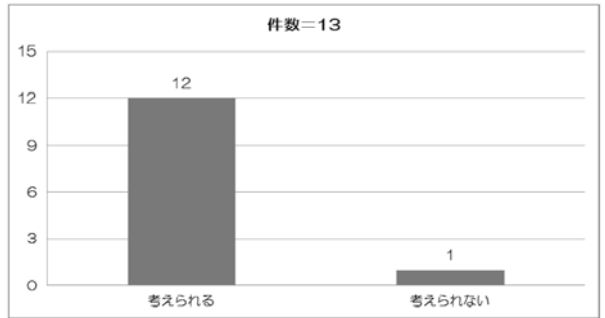
「3人」の回答が多く、次に「2人」の回答が多い。

問3-2 雇用した就労者は、あいち森と緑づくり事業人工林整備事業に従事していますか。



「従事している」の回答が「従事していない」の回答を大きく上回っている。

問3-3 あいち森と緑づくり人工林整備事業が会社の雇用に効果があった(雇用するきっかけとなった)と考えられますか。

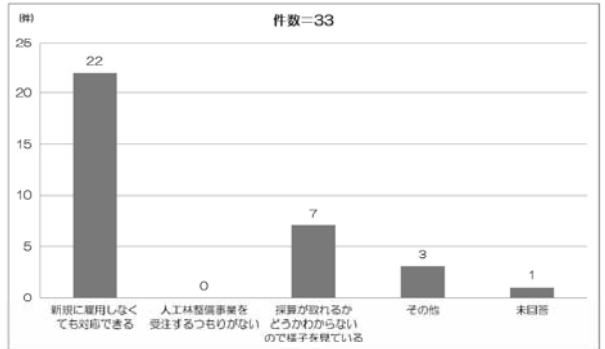


「考えられる」の回答が「考えられない」の回答を大きく上回っている。

(4) 新規雇用しなかった状況

問2で「2雇用しなかった」と答えた方にお聞きします。

問4 雇用しなかった理由は何ですか。



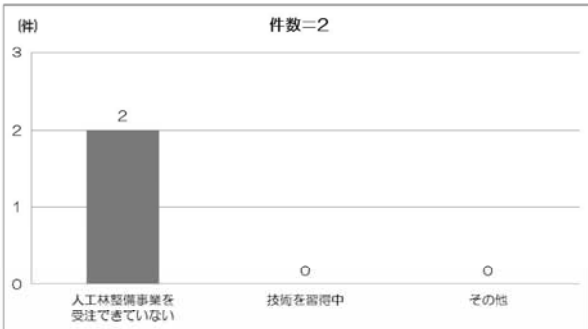
「新規に雇用しなくても対応できる」の回答が半数以上を占め、次に「採算が取れるかどうかわからないので様子を見ている」の回答が多い。

「その他」の意見として、「受注実績がなく雇用の必要がなかった」などの意見がある。

(5) 人工林整備事業に従事していない理由

問3-2で「2従事していない」と答えた方にお聞きします。

問5 従事していない理由は何ですか。



「人工林整備事業を受注できていない」の意見がすべてを占めている。

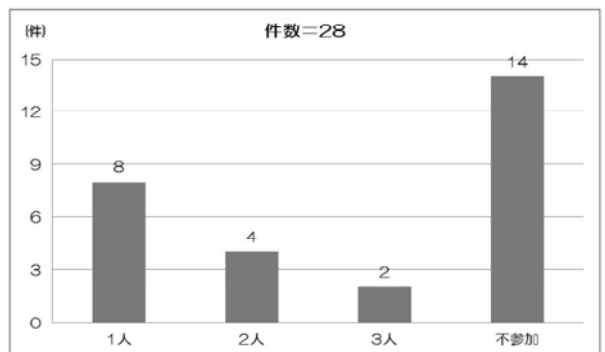
11 森林整備技術者養成研修 事業体アンケート

送付数 34 / 回答数 28 回答率 88.4%

(1) 受講生数の状況

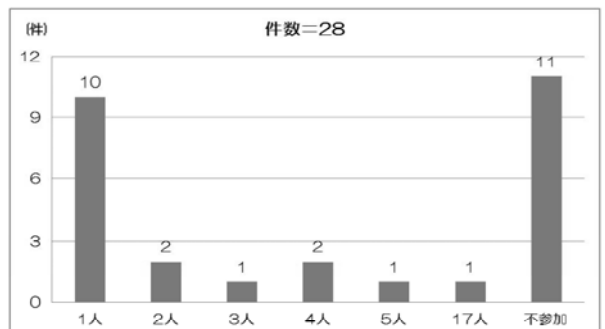
問1 あなたの会社から何人の受講生が参加しましたか。

平成21年度



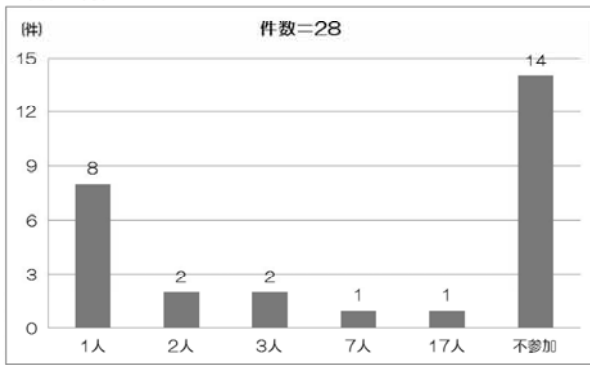
「1人」での参加が最も多く、次に「2人」での参加が多い。

平成22年度



「1人」での参加が最も多い。「17人」での参加もある。

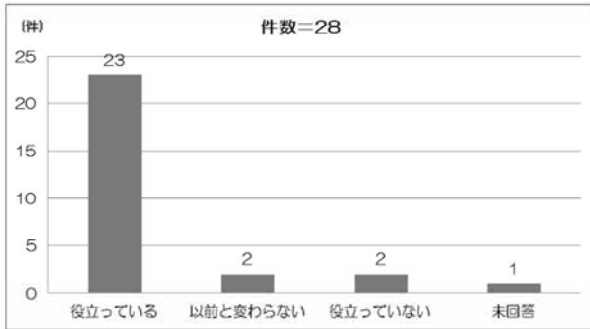
平成23年度



「1人」での参加が最も多い。「17人」での参加もある。

(2) 習得技術の効果

問2 受講生の習得した技術が実際の現場で役立っていますか。



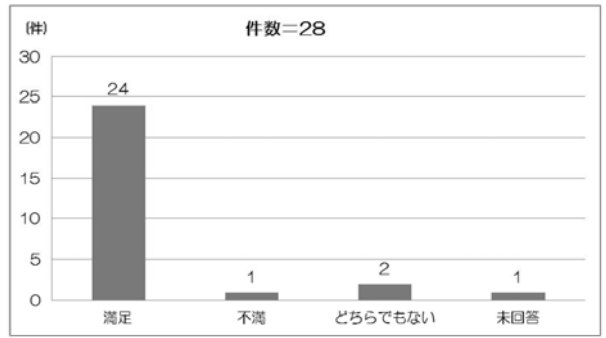
「役に立っている」の回答が大半を占める。

「役に立っていない」の理由として、「受講後直ぐに退社した」の意見がある。

37

(3) 研修内容の満足度

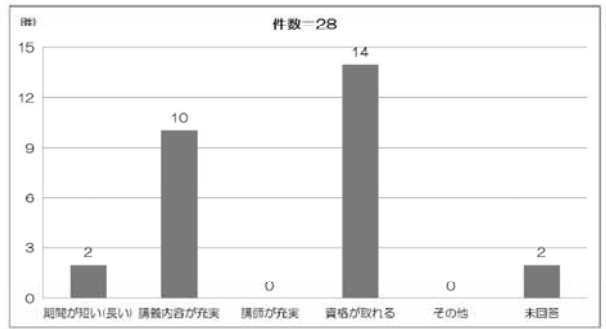
問3 研修の内容は満足できるものでしたか。



「満足」の回答が多数を占めている。

(4) 講義内容の良かった点

問4 講義内容ではどういった点が満足でしたか。

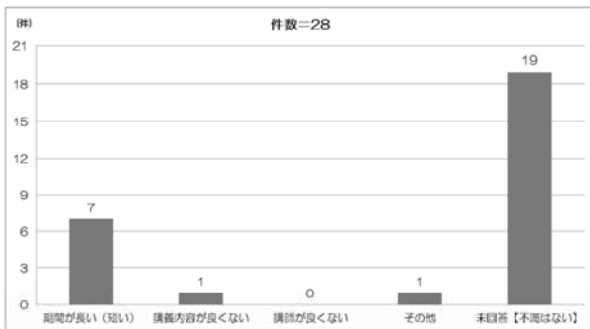


「資格が取れる」の回答が最も多く、次に「講義内容が充実」の回答が多い。

38

(5) 講義内容の悪かった点

問5 講義内容ではどういった点が不満でしたか。

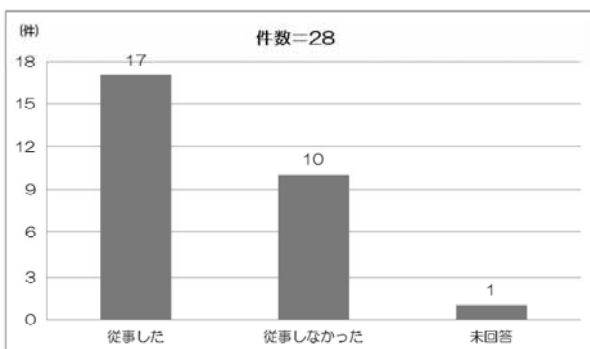


「時間が長い(短い)」の回答(不満)が多い。

「その他」の意見として、「現場での実施時間(実技教習)が少ないと思われた」がある。

(6) 受講生の従事の有無

問6 あなたの会社から研修を受講した作業員は、あいち森と緑づくり事業に従事しましたか。



「従事した」の回答が半数以上を占め、次に「従事しなかった」の回答が多い。

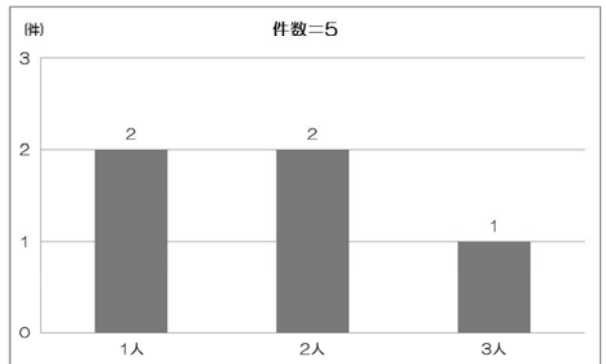
39

(7) 受講生の就業者数の状況

問6で「1 従事した」を選択した方のみお答え下さい。

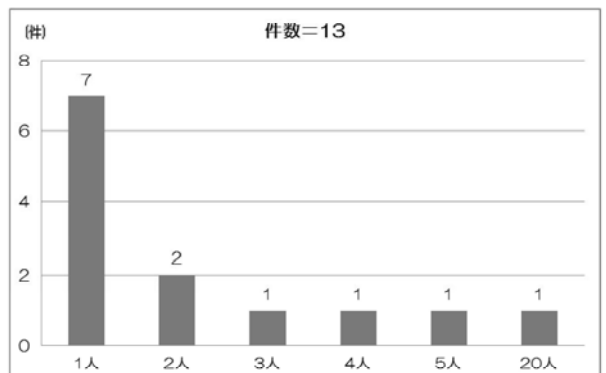
問7 何人の方が従事しましたか。

平成21年度



「1人」及び「2人」の回答が多い。

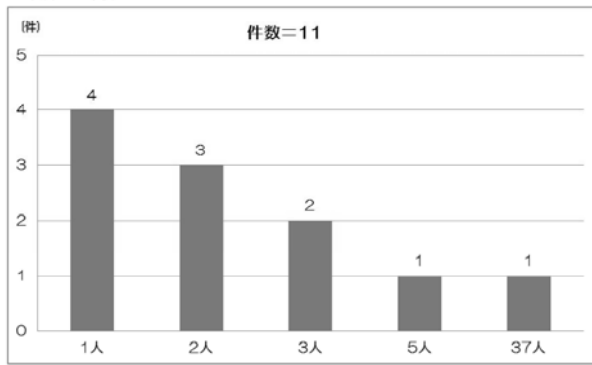
平成22年度



「1人」の回答が最も多く、次に「2人」の回答が多い。

40

平成23年度

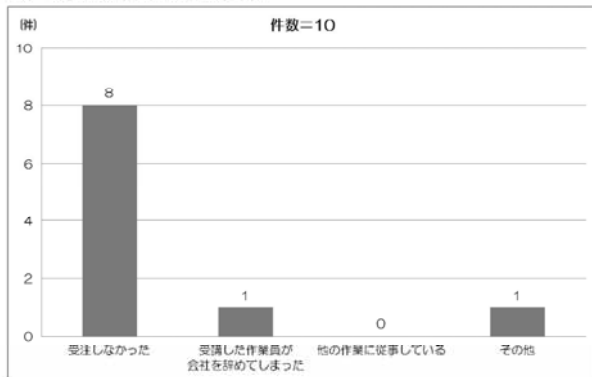


「1人」の回答が最も多く、次に「2人」の回答が多い。

(8) 従事しなかった主な理由

問6で「2従事しなかった」を選択した方のみお答え下さい。

問8 従事しなかった理由は何かですか。



「受注しなかった」の回答が大半を占めている。

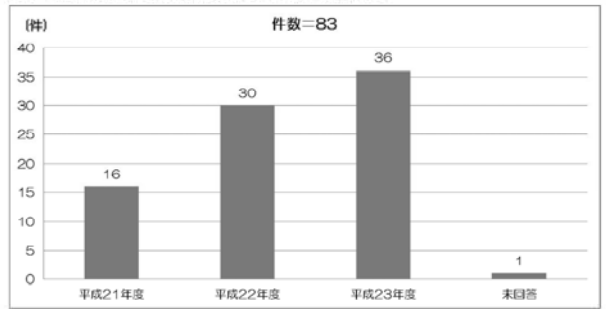
41

12 森林整備技術者養成研修 受講者アンケート

送付数117/回答数83 回答率70.9%

(1) 受講年度状況

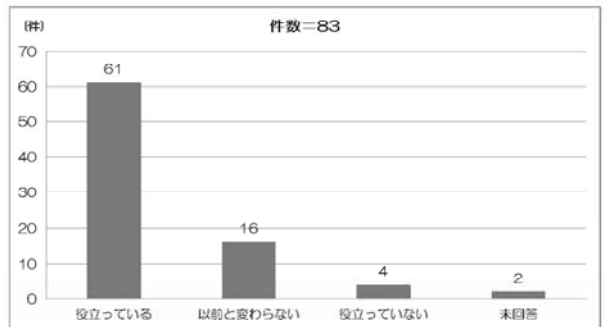
問1 森林整備技術者養成研修を、いつ受講しましたか。



「平成23年度」が最も多く、次に「平成22年度」が多い。

(2) 習得技術の効果

問2 習得した技術が実際の現場で役立っていますか。



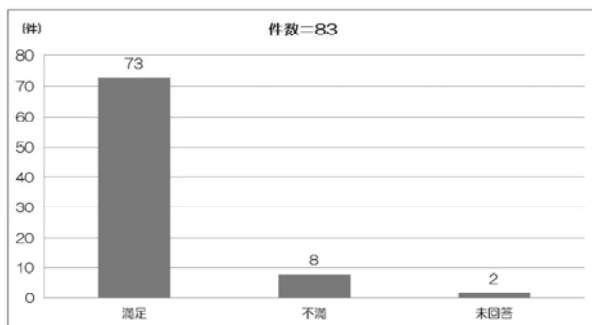
「役立っている」の回答が多数を占めている。

「役立っていない」の理由として、「取得した資格を使用する機会がない」などの意見がある。

42

(3) 講義内容の満足度

問3 あなたが受講した講義内容は、満足できるものでしたか。

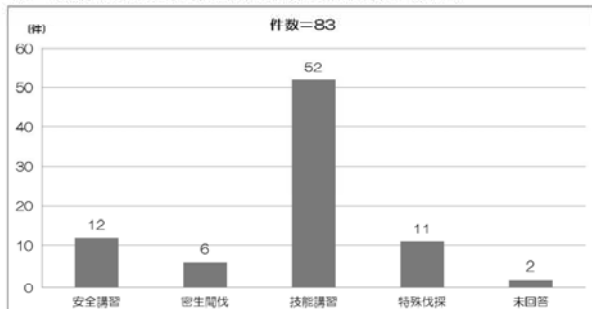


「満足」の回答が大半を占めている。

「不満」の理由として、「期待したほどレベルが高くなかった」、「講師が多くいたのは良いが、教え方がバラバラで混乱した」などの意見がある。

(4) 講義内容の良かった点

問4 あなたが受講した講義内容で、満足できるものは何でしたか。

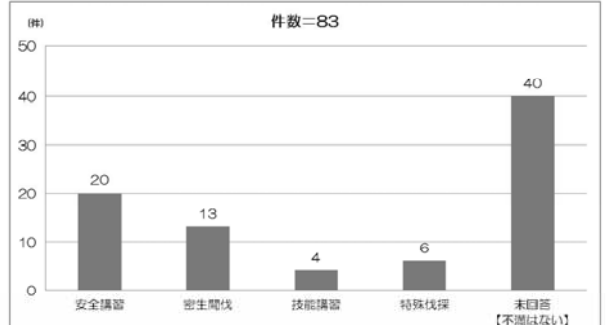


「技能講習」の回答が大半を占めている。次に「安全講習」、「特殊伐採」の回答が多い。

43

(5) 講義内容の悪かった点

問5 あなたが受講した講義内容で、不満だったものは何でしたか。

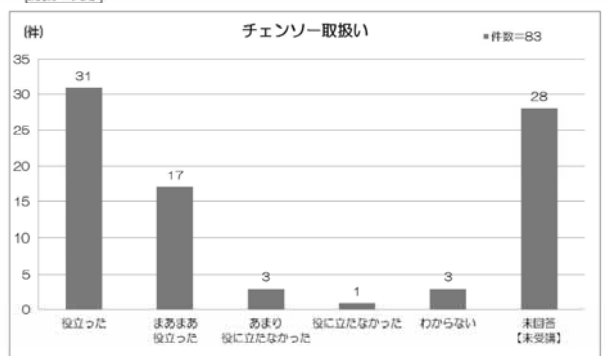


半数は「不満はない」との回答になるが、「安全講習」、次に「密生間伐」に対する不満の回答が多い。

(6) 役立った受講項目

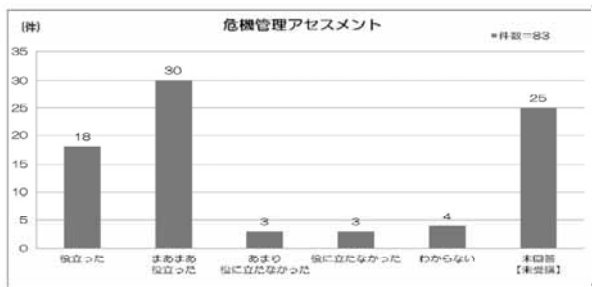
問6 研修を受講した後、日々の作業の中で研修内容が役に立ったかどうかを教えてください。なお、あなたが研修を受講した項目についてのみ回答してください。

講義・見学

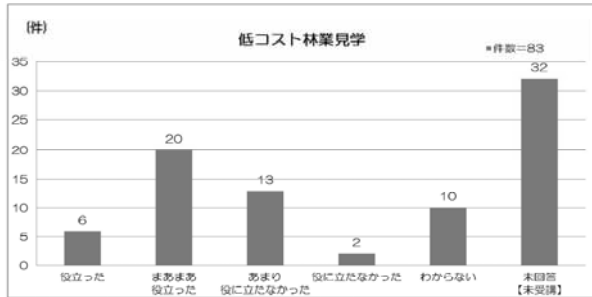


「役立った」、次に「まあまあ役立った」の回答が多い。

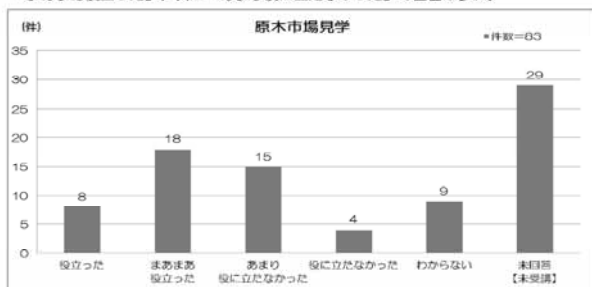
44



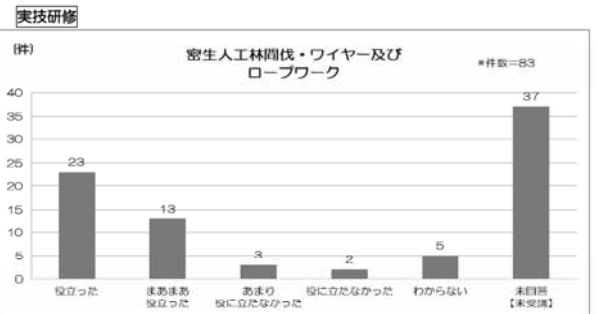
「まあまあ役立った」、次に「役に立った」の回答が多い。



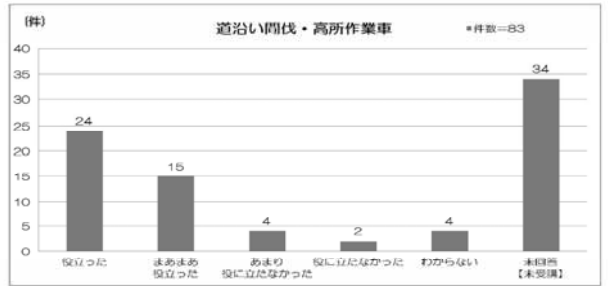
「まあまあ役立った」、次に「あまり役に立たなかった」の回答が多い。



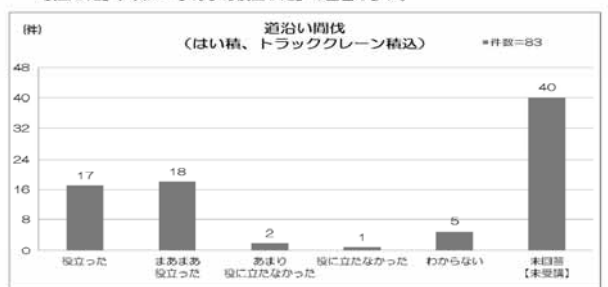
「まあまあ役立った」、次に「あまり役に立たなかった」の回答が多い。



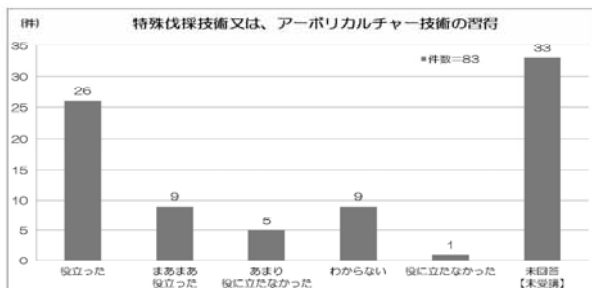
「役に立った」、次に「まあまあ役立った」の回答が多い。



「役に立った」、次に「まあまあ役立った」の回答が多い。

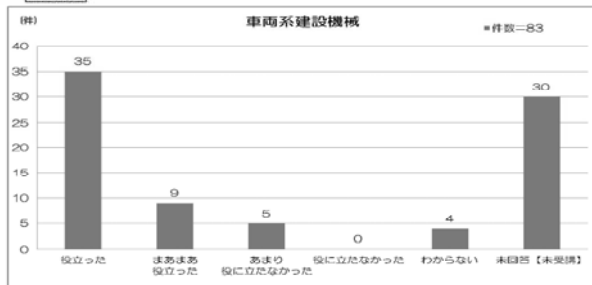


「まあまあ役立った」、次に「役に立った」の回答が多い。

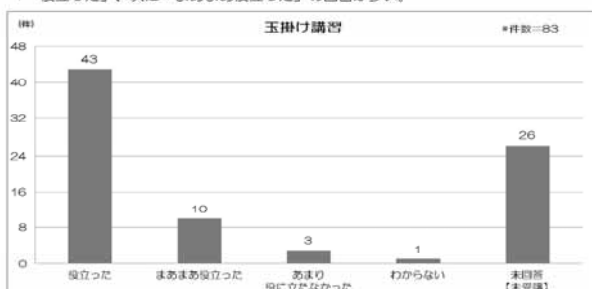


「役に立った」、次に「まあまあ役立った」、「わからない」の回答が多い。

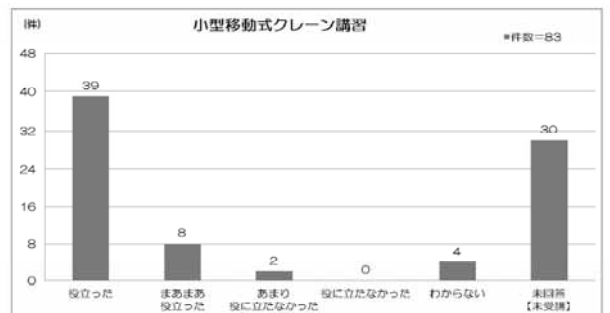
技能講習



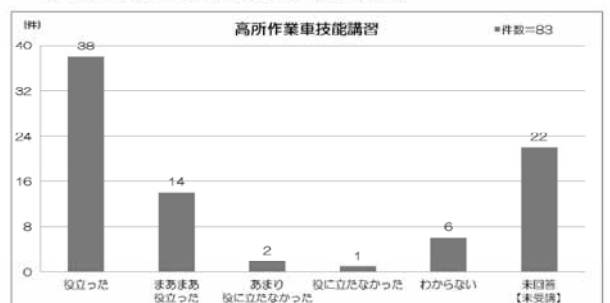
「役に立った」、次に「まあまあ役立った」の回答が多い。



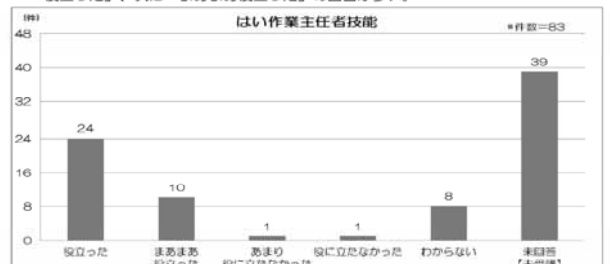
「役に立った」、次に「まあまあ役立った」の回答が多い。



「役に立った」、次に「まあまあ役立った」の回答が多い。



「役に立った」、次に「まあまあ役立った」の回答が多い。



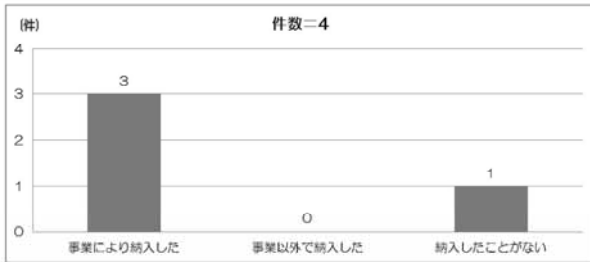
「役に立った」、次に「まあまあ役立った」の回答が多い。

13 木の香る学校づくり推進事業 机・椅子製造販売業者アンケート

送付数 6/回答数 4 回答率66.7%

(1) 国産木材の机・椅子納入の有無

問1 愛知県では、木の香る学校づくり推進事業を実施していますが、愛知県内の小中学校に国産材を使った木製の机・椅子を納入したことがありますか。ある場合は、納入先の市町村名も御記入ください。

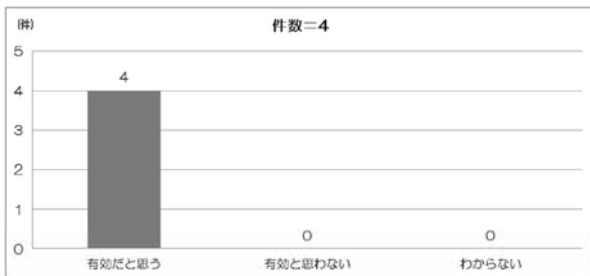


「事業により納入した」の回答が多い。

納入した市町村は、名古屋市・豊橋市・新城市・東栄町・豊根村がある。

(2) 事業の有効性

問2 木製机・椅子の導入は、森林整備の意義や木材活用の効果について普及啓発を図るのに有効だと思いますか。



「有効だと思う」の回答がすべてを占めている。

49

調査票

<アンケートに出てきます言葉の解説>

・あいち森と緑づくり税：

森や緑が持つ環境保全や災害防止などの様々な働きを高めるため、平成21年度から県民税均等割の額に一定額を上乗せして、御負担いただいているものです（個人年額500円増、法人5%増（年額1,000円～40,000円増））。

・あいち森と緑づくり事業：

あいち森と緑づくり税の税収等を財源として、森や緑が持つ様々な働きを高めるため、里山の森林、里山林、都市の緑をバランスよく整備する取り組みを行っている事業です。

・人工林：

木材を得る目的で、植林など人の手によって作られた、スギやヒノキなどの針葉樹の森林。

・間伐：

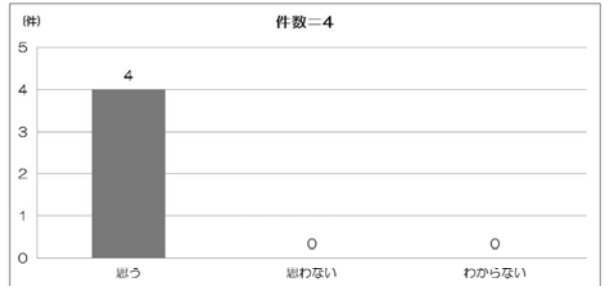
木の混み具合に応じて、混みすぎた森林の木を間引きして伐採する作業のことで、残した木の生長を促すとともに、森林の様々な働きを高める効果があります。

・里山林：

かつて人々が暮らしの中で、薪（まき）や落ち葉などを燃料や肥料に利用することで維持管理されてきた、コナラなどの落葉広葉樹の森林。

(3) 事業実施による効果

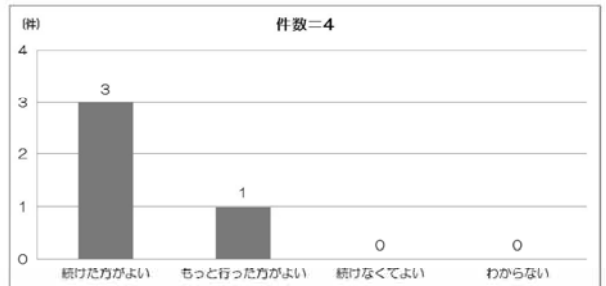
問3 この事業により、愛知県産木材を利用した児童生徒用学習机・椅子を導入する学校が増えた（増える）と思いますか。



「思う」の回答がすべてを占めている。

(4) 今後の事業の在り方

問4 木の香る学校づくり推進事業を今後も続けた方がよいと思いますか。



「続けた方がよい」の回答が最も多く、次に「もっと行った方がよい」の回答が多く、「続けなくてよい」の回答はない。

(5) その他、この事業に対する自由意見

「事業の対象を机・椅子からより広げてほしい（ロッカー・フローリングタイルなど）」、「市町村へのPR活動をしてみたいが認知度が低い」、「10年間では市町村在住の小中学校の生徒達に行き渡らず、学校内の一部の学年だけ、又は選ばれた学校のみ使用という感じを受ける」などがある。

50

1

あいち森と緑づくり事業<人工林整備事業> 市町村用アンケート

このアンケートは、平成21年度から23年度までの間で、あいち森と緑づくり事業の人工林整備事業を実施していただいた市町村に送付させていただきました。御多忙のところ恐縮ですが、調査への御協力をよろしくお願いいたします。

<問いに対する答えのうち、考えに一番近いものを〇で囲ってください>

問1 あいち森と緑づくり人工林整備事業を実施した結果、あなたの市町村の森林が良くなったと感じますか。

- 1 良くなった
2 以前と変わらない
3 悪くなった (理由)

問2 あいち森と緑づくり人工林整備事業の内容は、あなたの市町村の森林にとって満足できる事業ですか。

- 1 満足
2 既存の事業と変わらない
3 不満 (理由)

問3 あいち森と緑づくり人工林整備事業を今後も続けていったほうが良いと思いますか。

- 1 続けて欲しい
2 内容を変えて続ける
3 やめたほうが良い (理由)

問4 問2で「3 不満」、または問3で「2 内容を変えて続ける」と答えた方にお聞きします。

具体的にどのような内容を変えたらよくなると思いますか。

51

52

あいち森と緑づくり事業<里山林整備事業> 事業実施市町村用アンケート

このアンケートは、平成21年度から23年度までの間で、あいち森と緑づくり事業の里山林整備事業を実施していただいた市町村に送付させていただいています。御多忙のところ恐縮ですが、調査への御協力をよろしくお願いいたします。

くあいち森と緑づくり事業の3種類の里山林整備事業のうち、貴市町村で実施した事業について御回答ください。問いに対する答えのうち、考えが一番近いものを○で囲ってください

問1 次の里山林整備事業を実施した結果、貴市町村の里山林が良くなったと感じますか。

- | | |
|---------------------------|---|
| ①里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）について | |
| 1 良くなったと感じる | |
| 2 以前と変わらない | |
| 3 悪くなった（理由） | ） |
| ②提案型里山林整備事業（市町村交付金事業）について | |
| 1 良くなったと感じる | |
| 2 以前と変わらない | |
| 3 悪くなった（理由） | ） |
| ③里山林再生整備事業（県営事業）について | |
| 1 良くなったと感じる | |
| 2 以前と変わらない | |
| 3 悪くなった（理由） | ） |

問2 実施した里山林整備事業は、貴市町村の里山林にとって満足できる内容でしたか。

- | | |
|---------------------------|---|
| ①里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）について | |
| 1 満足 | |
| 2 不満（理由） | ） |
| ②提案型里山林整備事業（市町村交付金事業）について | |
| 1 満足 | |
| 2 不満（理由） | ） |
| ③里山林再生整備事業（県営事業）について | |
| 1 満足 | |
| 2 不満（理由） | ） |

次頁へ続く→

問3 里山林整備事業の実施後、地域の方々の里山林の利用が増えたり、関心が高まるなどの効果があったと思いますか。

- | | |
|---------------------------|--|
| ①里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）について | |
| 1 効果があった | |
| 2 以前と変わらない | |
| ②提案型里山林整備事業（市町村交付金事業）について | |
| 1 効果があった | |
| 2 以前と変わらない | |
| ③里山林再生整備事業（県営事業）について | |
| 1 効果があった | |
| 2 以前と変わらない | |

問4-1 地域の方々から、里山林整備事業の実施に向けての相談に対して、貴市町村の段階で不採択としたことがありますか。

- | | |
|--------|--|
| 1 あった | |
| 2 なかった | |

問4-2（問4-1で「1 あった」と答えた方）その理由は何ですか。（複数選択可）

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1 地域森林計画対象民有林ではなかった | |
| 2 都市近郊（都市計画区域）ではなかった | |
| 3 集落や公共施設等の周辺ではなかった | |
| 4 保安林だった | |
| 5 人工林だった | |
| 6 放置された森林ではなかった | |
| 7 「森林と人との共生林」ではなかった | |
| 8 1事業地5ha以上だった（提案型里山林整備事業の場合） | |
| 9 公有林だった | |
| 10 協定が結ばなかった | |
| 11 小面積だった | |
| 12 事業規模が大きすぎた | |
| 13 事業内容以外の要望だった | |
| 14 他事業の案件だった | |
| 15 その他（具体的） | ） |

次頁へ続く→

問5 里山林整備事業を進めるにあたって、支障になっていることがありますか。

- | | |
|------------------------|---|
| 1 地域の里山林の状況が把握できない | |
| 2 地域からの要望の把握ができない | |
| 3 地域からの要望はあるが採択要件に合わない | |
| 4 事業の承諾が得られない | |
| 5 事業の担当部所が明確でない | |
| 6 委託・工事の設計ができない | |
| 7 他の業務で多忙である | |
| 8 事業の制度上に問題がある（理由） | ） |
| 9 その他（具体的に） | ） |

問6 あいち森と緑づくり事業による里山林整備事業を、今後も続けていったほうが良いと思いますか。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 続けたほうが良い | |
| 2 内容を変えて続ける
（変える内容について具体的に） | ） |
| 3 続けなくて良い（理由） | ） |

問7 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備について、感想・意見などがありましたら自由に書いてください（事業の規程や運用方法など）。

御協力ありがとうございました

あいち森と緑づくり事業<里山林整備事業> 事業未実施市町村用アンケート

このアンケートは、平成21年度から23年度までの間で、あいち森と緑づくり事業の里山林整備事業を実施していただけていない市町村に送付させていただいています。御多忙のところ恐縮ですが、調査への御協力をよろしくお願いいたします。

「里山林整備事業」：放置された里山林を対象に、生物多様性などの公益的機能を回復させるため、枯れたり、支障となる木の抜き伐りや侵入竹の伐採などの森林の手入れ、作業小屋や管理道などの施設整備を行う事業

く問いに対する答えのうち、考えが一番近いものを○で囲ってください

問1 貴市町村で、里山林整備事業を実施していない理由を教えてください。

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1 事業があることを知らなかった | |
| 2 地域の里山林の状況を把握していない | |
| 3 地域の里山林の状況を把握しているが、事業実施の必要性がない | |
| 4 地域からの要望がない | |
| 5 地域からの要望はあるが採択要件に合わない | |
| 6 事業の承諾が得られない | |
| 7 事業の担当部所が明確でない | |
| 8 委託・工事の設計ができない | |
| 9 他の業務で多忙である | |
| 10 事業の制度上に問題がある（理由） | ） |
| 11 その他（具体的に） | ） |

問2-1 地域の方々から、里山林整備事業の実施に向けての相談に対して、貴市町村の段階で不採択としたことがありますか。

- | | |
|--------|--|
| 1 あった | |
| 2 なかった | |

次頁へ続く→